

平成25年度第1回 高砂市スポーツ推進計画検討会議

平成25年7月30日(火) 19時00分高砂市スポーツ推進計画検討会議を高砂市役所南庁舎2階会議室2において開会

出席委員	議長	森田 啓之	委員	加茂 朋之
	副議長	藤原 良文	委員	松陰 英人
	委員	砂川健次郎	委員	佐藤 章徳
	委員	鎌谷 正士	委員	山田 みえ
	委員	水王 征子	委員	中村 香織
	委員	池田 政隆	委員	島本 卓

出席事務局職員

市長	登 幸人
健康文化部長	橋本 保正
健康文化部長	猪子 真一
くらしと文化室長	
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課長	東野 哲也
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課主幹	福原 裕子
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課係長	前川 吉也

協議事項

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 委 員 紹 介
- 4 「高砂市スポーツ推進計画」について
- 5 議長、副議長の選出
- 6 議 題
 - (1) 高砂市スポーツ推進計画の策定について
 - (2) 高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規程について
 - (3) 高砂市スポーツ推進計画検討会議の公開について
- 7 そ の 他
 - (1) 高砂市のスポーツ団体の活動について
 - (2) 高砂市スポーツに関する市民アンケートについて
 - (3) 今後のスケジュールについて
- 8 閉 会

(午後 7時00分 開会)

○事務局

開会に先立ちまして、登市長より、委員の皆様方に委員の委嘱状を交付させていただきます。

市長、よろしくお願いいたします。

(委員委嘱状交付)

○事務局

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、ただいまより、第1回高砂市スポーツ推進計画検討会議を開催いたします。

なお、お手元にお配りしております資料の次第により進行いたしますので、よろしくお願いいたします。

配布資料の確認をまずさせていただきますと思います。

(配布資料確認)

○事務局

次に、会議の進行について一言お断り申し上げたいと思います。

この高砂市スポーツ推進計画検討会議は、議事は議長が進めることとなっておりますが、議長が選出されるまで事務局のほうで行います。よろしくお願いいたします。

私は、本日、司会進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

では、本日の第1回高砂市スポーツ推進計画検討会議の開催にあたりまして、登市長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

○登市長

(市長 あいさつ)

○事務局

ありがとうございました。それでは、次に、次第の3番目、今回、高砂市スポーツ推進計画検討会議の委員としてお願いいたしました方々の名簿をお手元のほうにお配りしております。名簿の順に自己紹介をお願いいたします。

○委員

こんばんは。兵庫教育大学のスポーツ健康系教育分野というところにおります。この地域のスポーツとか、学校のスポーツもそうですが、運動部活動とか、そのあたりを興味を持って研究をしております。昔は、若輩者ですがと言っていたんですが、いつの間にか今年で半世紀生きることになってしまいまして、何とかここでも皆さんの少しでもお役に立てるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員

こんばんは。体育協会の副会長をさせていただいております。本来ならば、会長が出席するべきではないかなと言いつつも、会長のほうから、「スポーツ推進計画検討会議のほうに出席しなさい」という命令がございましたので、会長の命令に従って出席させていただきました。よろしくお願いいたします。

○委員

高砂市スポーツ推進委員会副会長です。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員

高砂市スポーツ少年団です。よろしくお願いいたします。スポーツ少年団は、全国組織です。日本スポーツ少年団、兵庫県スポーツ少年団、高砂市スポーツ少年団という組織となっています。いろんな種目がありますが、高砂市は、軟式野球、サッカー、空手道の種目に取り組んでいます。また、リーダー会といたしまして、小学1年生から4年生に運動の楽しさを教える活動をしています。最近、テレビゲームをして家で一人で遊ぶ

子ども達が増えています。まともに走ったり、投げたりできない子どもが増えています。陸上教室を中心に野外活動、音楽、絵画等を行いながら、運動の楽しさを学ぶ活動をしていますので、よろしく願い申しあげます。

○委員

中筋小学校校長です。よろしく願いいたします。小学校の体育担当校長になっております。

○委員

中学校の体育担当校長です。荒井中学校におります。先週から県の総体が始まりまして、きょうで終わっております。高砂市におきましても、陸上、水泳を筆頭に、全国、近畿で出場する選手が決まっております。大変、部活動が盛んでして、また、体育活動についても、先ほど市長がおっしゃられましたように、生涯にわたってスポーツ活動ができるように、小学校、中学校と連携しながら進めております。

以上です。

○委員

皆様、こんばんは。株式会社カネカに勤務しております。私は、高校生のときから15年以上、陸上競技をしていまして、また、最近は、高砂市陸上教室、小学生陸上教室というところのお手伝いもさせていただいております。競技者という目線と子どもたちの目線、そういう二つの目線から、少しでも皆さんのお役に立てればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○委員

こんばんは。ふだんは健康運動士として、地方自治体が主催しております健康増進事業、特定保健指導ですとか、介護予防事業ですとか、そういう健康増進事業の運動関係の講師をしております。事業にかかわっていて、その事業では成果を上げていても、その事業が終わってしまうと効果が落ちてしまうといえますか、途切れてしまうところがあるなと思って、今回、委員に応募させていただきました。少しでも運動をしていただける方の底辺を広げることができたらなと思っております。よろしく願いいたします。

○委員

こんばんは。フィットネスインストラクターをしております。小さい子どもから高齢者の方まで多くの方の指導に携わっております。高砂市のほうでも何かお手伝いができないかなと思って応募させていただきました。よろしく願いいたします。

○委員

皆さんこんばんは。高砂市の心身障害者連絡協議会でお世話になっております。現在は、高砂市から障害者スポーツなどの、もっと皆さんが知ってもらえるような活動であったり、個人的には、「ユニバーサルTAKASAGO」という名前で兵庫県全域にどんだん障がい者のいる場所であったり環境づくりもやっております。今後ともよろしく願いいたします。

○委員

最後になりましたけれども、自己紹介をさせていただきます。ここに書いてありますとおり、東播磨・北播磨地区スポーツ推進委員連絡協議会の会長を今現在、させていただいております。それと兵庫県スポーツ推進委員会の副会長もさせていただいております。それと高砂市における、先ほど市長からもありましたように、スポーツクラブ21高砂市推進委員会の委員長をさせていただいております。高砂市10校区、小学校区ございまして、その10校区の地域の方々をお願いをして、ボランティア的に全て活動、運営をさせていただいております。そういうわけで、スポーツクラブ21の各地域の働きというものから、トップアスリートも出るんじゃないかな。兵庫県のリレーカー

ニバルにおいても、小学生の皆さんが活躍していただいております。それぞれそういう形で活躍していただいておりますけれども、このきょう来られている皆さん、そういうみんなの横のつながり、連携というものを持って、高砂市をもっともっと盛り上げていきたいというふうにも考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○事務局

委員の皆様、ありがとうございます。もう1名、スポーツクラブ21、高砂市連絡協議会の委員につきましては、少し遅れるようですので、よろしくお願ひいたします。

次に、事務局側を紹介いたします。

(事務局職員紹介)

○事務局

引き続きまして、次第の4番目、「高砂市スポーツ推進計画」及び「高砂市スポーツ推進計画検討会議設置要綱」について説明いたします。

○事務局

座ったまま失礼いたします。

それでは、第1回高砂市スポーツ推進計画検討会議資料1ページをお願ひいたします。資料1でございます。

そこにお示しいたしております高砂市スポーツ推進計画についてでございますが、平成23年8月24日に施行されましたスポーツ基本法第10条の「スポーツ計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする」を受けまして、本市の生涯スポーツの指針となるスポーツ推進計画を策定するものでございます。

策定スケジュールにつきましては、後ほどまた説明させていただきます。

2ページをお願ひいたします。

先ほどご説明いたしましたスポーツ推進計画を策定するため、高砂市スポーツ推進計画検討会議を設置することとし、この要綱では、検討会議の構成員と議長、副議長及び会議の運営等についての事項を定めております。

なお、この要綱は、平成25年4月1日から施行しております。

以上でございます。

○事務局

それでは、引き続きまして、次第の5番目、議長、副議長の選出を行います。

先ほど説明いたしました検討会議設置要綱第4条に、検討会議に議長及び副議長を置き、構成員の互選によってこれを定めるとあります。皆様の中で、議長、副議長の互選をお願ひしたいと思っております。自薦、他薦を問いませんので、この場でお声かけをしていただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

○委員

事務局、腹案を持たれておるんじゃないでしょうか。

○事務局

ただいま、事務局の案があればということでございますが、いかがでしょうか、事務局からの案をご提示してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○事務局

ありがとうございます。事務局案といたしまして、議長は、兵庫教育大学の森田委員、副議長は、東播磨・北播磨地区スポーツ推進委員連絡協議会会長の藤原委員にお願ひしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○事務局

それでは、森田委員、藤原委員にお願いしたいと思います。

議長に選任されました森田委員、副議長に選任されました藤原委員は、前の席にお移りいただきたいと思います。

そうしましたら、ちょっと休憩させていただきまして、委員の委嘱のほうを先にさせていただきますきたいと思います。

(委員委嘱状交付)

○事務局

委員、来られたところで申し訳ないんですが、皆様の自己紹介がもう既に終わってしまったので、挨拶だけ一言お願いします。

○委員

すみません、おくれまして申し訳ございません。スポーツクラブ21高砂市連絡協議会の会長をしております。よろしく申し上げます。

○事務局

ありがとうございました。それでは、先ほど決まりました議長、副議長に一言ご挨拶をお願いいたします。

○議長

ただいま議長に選任されました森田です。高砂市のほうは、まだ細かい事情のところは十分理解できていないところもありまして、そういう意味で、皆さんのお力をかりながら、ほかのところでもこの計画をつくった経験はあるんですが、高砂市のまさに特徴とか課題を踏まえた中身のあるものにしていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。

○事務局

ありがとうございました。続きまして、副議長、お願いします。

○副議長

森田先生の指導のもとに、このスポーツ推進計画ができ上がることを信じております。他地区では3年ほどかかったというようなことも聞いておりますけれども、2年、平成25年度、平成26年度でつくり上げようということで計画されておりますけれども、何分とも高砂市はスポーツの盛んな地域でございますので、それぞれいろんな計画、案というものを持たれておると思いますが、森田先生のほうにいろいろ案を出していただいて、そして、つくり上げたいというふうに思います。

このスポーツには、小学生のスポーツ、幼少年の子どもたちから高齢者に至るまでの我々が取り組んでおる生涯スポーツ、そして、障がい者のスポーツもございまして。全ての方々が手を取って、我々は、常にお世話する側という形のほうへ回らせていただいてやらせていただいておりますけれども、そういう形で、みんなが連携を持って、楽しい、すばらしいスポーツを通じての地域づくりができるようになっていければなというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。

○事務局

ありがとうございました。ここで、市長は所要のため退席をさせていただきます。

○登市長

すみませんが、皆さん、どうぞよろしくお願いいいたします。

○事務局

それでは、議長、副議長が選出されましたので、今後の議事進行は、高砂市スポーツ推進計画検討会議設置要綱第4条第2項により、森田議長にお願いします。

○議長

そうしましたら、お手元の次第の議題に基づいて、早速、議事に入りしたいと思います。

まず1番目、高砂市スポーツ推進計画の策定についてということで、まず、事務局のほうから、この中身について説明をお願いします。

○事務局

この検討会議において、今後、高砂市スポーツ推進計画について検討していくわけですが、まず、高砂市のスポーツの現状についてご説明したいと思います。

資料編の1ページから5ページをお願いいたします。

高砂市体育協会各24種目協会の平成25年度行事予定でございます。

6ページの高砂マラソンは、体育協会の主催事業でございます。昨年度は1,114名の申し込みがございました。昭和31年4月1日に市民スポーツの普及を目的として創設されました。

続きまして、7ページから9ページをお願いします。

スポーツクラブ21の活動状況と会員数、平成25年度の主な事業でございます。

子どもから高齢者まで、地域の誰もが気軽に参加し、世代間交流をすることができ、会員の会費によって運営される住民の皆さんの自主運営によるスポーツクラブでございます。

続きまして、10ページ、11ページは、高砂市スポーツ推進委員会の主な事業でございます。スポーツに関する深い関心と理解を持った者で構成され、高砂市では20名が市長より委嘱され、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行っております。

続きまして、12ページ、13ページは、高砂市スポーツ少年団の主な事業でございます。

スポーツを通じ、健全な心身の育成を図ることを目的として、日本スポーツ少年団が昭和37年に設立されました。その翌年の昭和38年、高砂市スポーツ少年団が設立され、50周年を迎えております。先ほど本部長の説明にもありましたように、野球、サッカー、空手道の3種目及び小学生低学年を対象としたキッズクラブに団員、指導者合わせて約534名が登録されております。

14ページから16ページは、公益財団法人高砂市施設利用振興財団が行っております各種スポーツ教室、各種スポーツ大会、市長杯競技大会でございます。

17ページ、18ページは、平成20年度に策定されました「高砂市の教育」の社会体育の基本方針でございます。

以上でございます。

○議長

続きまして、高砂市スポーツ推進計画の策定について説明をお願いできますでしょうか。

○事務局

引き続きまして、高砂市スポーツ推進計画の策定についてご説明いたします。

先ほどの高砂市スポーツ推進計画検討会議資料の1ページは先ほど説明させていただきましたので、8ページ、資料6、高砂市スポーツ推進計画策定スケジュール（案）をお願いいたします。

平成25年度、平成26年度の2箇年のスケジュールをお示ししております。今年度中には、9月、11月、1月に高砂市スポーツ推進計画検討会議を開催し、2月にパブリックコメントを実施し、広く市民から意見を募集する予定で考えております。平成26年度も4回の高砂市スポーツ推進計画検討会議を開催し、8月の策定を予定しております。

以上でございます。

○議長

かなり盛りだくさんのことを一度に説明いただいたんですが、まず、恐らくこのスポーツの計画というふうなものについて、初めて具体的に目にする方もいらっしゃると思います。遠慮なく、今、事務局からありました説明について、まず最初、事務局のほうは、ここにお集まりになってくださっている団体の方が、今現在、どのような活動を主にやっているのかということの説明をいただいております。これからの計画を立てる意味で、現状を把握するというつもりでお聞きするのが一つ、もう一つは、具体的に、先ほど市長からもありましたが、2箇年で検討するにあたって、どんな流れでやるのかというのがスケジュールの表になっているところで、少し補足しますが、きょうの事前配布資料にもありますが、この議論をするというものが一つ、それと、あとは市民にアンケートを無作為抽出でお願いをしているので、その結果とかを踏まえながら、あと最終的には、パブリックコメントという形で市民の方に広くオープンにして、今年度、大体落ちついていくと。来年度は、アクションプランという言葉があると思うんですが、平成27年度から具体的にやるにあたって、具体的な中身とか事業についても少し言及できるような計画ができればというふうなことで、推進計画というのは、大体の青写真とかというふうな形で理解をいただいたらと思います。よく自治体の方であるのは、5年後、10年後にどんなふうな状況になっていけばいいなあみたいなのを委員の皆さんのご意見を踏まえながらつくり上げていくのが推進計画だと。アクションプランのほうは、現実には、お金のこととか財政のことも絡んできますので、どれからやっていくべきとか、そのあたりについて言及するのがアクションプランだというふうにご理解いただけたらと思います。

ちょっと補足、長くなりましたが、そのほか何なりといろいろな角度から結構ですので、事務局のほうにご意見とかご質問がありましたら出していただきたいんですが、いかがでしょうか。

十分、日頃かかわっておられる方なので、問題ないですかね。何かありますか、この資料のことについて。

○委員

一つだけ。高砂市の場合は、この平成25年度、平成26年度で策定ということなんですけども、ちょっと情報として教えていただきたいんですが、ほかの自治体の状況というのはどんな、同じようなスケジュールで動いているのか、既にもうこういうのをつくってしまっているところもあるのか、その辺の情報がわかれば、周辺の自治体の状況を教えてください。

○議長

今回、資料にもありますが、スポーツ基本法という大きな国の法律ができました。それができる以前から、2000年からなんですけど、スポーツの基本計画というのは、当時は推進基本計画と言っていたんですが、国のほうで策定していたので、それを受けて、県とか市町村は自主的につくりなさいという強制力がなかったんです。でも、その段階で、2000年からこの5、6年前ぐらいに大体多くのところはつくって、特にこのあたりでは、加古川市とか、播磨町とか、もちろん神戸市とか大きいところはあります。この東・北播磨でしたら、三木市はたしかつくったんですか、稲美町はまだこれからかな、それで、多可町は3年前に、私、かかわってつくらせていただきました。西脇市もあるというふう聞いております。そういう意味で、この基本法が今度、法律としてできた関係で、積極的にかなり各自治体ともそれを、それぞれの市町村で展開するものをつくりなさいというのがちょっと強制力っぽく、かなり展開になっているというところが実のところだろうと思います。

ですので、ホームページで検索いただいたら、ヤフーとか、スポーツ推進計画と入れれば、いろんな資料がすぐ見られると思います。そのあたりもまた負担でないところで

事前にいろいろ見ていただけたら、何が違うのかなというところもわかっていただけるのではないかと思います。

そのほかいかがでしょうか。

(「なし」の声あり)

○議長

では、先ほど事務局から説明がありましたスケジュール等に基づいて会議を進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

続いて、2点目、高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規程についてという2番目の議題に移りたいと思っております。

事務局のほうから説明をよろしくお願いいたします。

○事務局

会議資料の3ページ、資料3をお願いします。

高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規程(案)をお願いいたします。

第2条では、高砂市スポーツ推進計画検討会議設置要綱第3条において、12名以内で構成する検討会議委員につきまして、各分野の部分の構成委員を定めているものがあります。

公開についてはまた後ほどご説明いたします。

以上です。

○議長

これは審議を、具体的にこの規程がいいかどうかを検討するというところでよろしいですかね。

資料2の高砂市スポーツ推進計画検討会議設置要綱のところを受けて、具体的に人数のことだとか、あと記録、このあとにもかかわるんですが、公開というふうなことも含めてありますので、2と3をあわせてやるというふうなことにしましょうか。2を了承して、その中身がまた公開で出てくるので、すみませんが、続いて、この検討会議の公開についてという3の議題のところも少しご説明をお願いします。

○事務局

資料4をお願いいたします。

高砂市スポーツ推進計画検討会議の公開について(案)でございます。

ただいま高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規程の第3条に基づき、会議の公開に関する取扱いを議長が定めるものがございます。

会議の公開基準に基づき、公開、非公開の決定を行うこと及び会議傍聴のルール、会議開催の事前公表、会議結果の公表について定めるものであります。

当検討会議については、高砂市審議会等の会議の公開に関する指針に準じ、特に議長が非公開の決定をしなければ、基本的に公開とさせていただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長

そうしましたら、資料3と資料4をご覧いただいて、私もこのあたりの表現とか細かいところは、十分理解というか、高砂市の状況を熟知していないもので、皆さんのほうで目を通していただいて、ご意見がありましたらいただきたいと思っております。まず、高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規程全体のほうは、議論、確認しなければいけないのは、この公開、そして、記録というところの中身であろうかと思っております。その公開のもう一つ細かい部分の中身が資料4のところですね。傍聴がどうだとか、非公開、公開の決定だとか、検討会議の事前公表とか、こういうふうなことを記述しているということですが、基本的には、多分、ほかの会議なんかと同じスタイルになっていると理解していいですよ。ということなんです、その方向でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○議長

特に聞かれてまずいようなことを言うようなことでもないので、大丈夫かと思えます。

そうしましたら、この2点目と3点目の議題についても、まとめてご了解いただけるということで先に進みたいと思います。ありがとうございます。

続いて、きょう議論すべき点については、この3点、確認すべき点は3点なんですが、その他事項に移りたいと思います。

まず1点目、高砂市のスポーツ団体の活動についてということで、これについて事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局

これは、先ほど資料編のところの説明をさせていただきましたとおりでございます。現在、高砂市で行われているスポーツ活動、スポーツ少年団、体育協会、スポーツクラブ21、スポーツ推進委員会、それと施設利用振興財団が行っておりますスポーツを紹介いたしました。

資料編のところに参加人数等は書いてございますとおりで、そのほかにまだ体育協会に参加してなくてスポーツを行っている団体も多数ございます。事務局として把握しております団体では、この資料編の1番から8番までの団体でございます。

以上です。

○議長

かなり中身とか具体的事業の部分が多いですので、また議論をする中で、恐らくこれを全部把握している市民の方はいらっしゃらないと思います。それぞれご自身がかかわっているところは見えているんですが、それ以外のところは、こういうものがあつたのかみたいな、これだけの事業、言葉はちょっとあれなんですけど、回していたんかというふうによくのところでよく話になるんですが、まず、そういう意味で、今後、具体的に議論を進めていくうえで、自分の所属しているところ、見えてないところの部分についてのまた疑問とか思いとかが出てきましたら、その都度、遠慮なく言っていただけたらと思います。

では、続いて、この市民アンケートの部分のところの説明をしてください。

○事務局

アンケートの内容はA3の裏、表にお示しさせていただいております。市役所関係では、中央公民館と本庁教育センターにおきまして、あと各企業にアンケートをお願いいたしました。全部で830枚配布をいたしまして、657枚、回収しております。79%の回収率でございます。分析のほうはまだでございますので、これからです。

○議長

このアンケートも、いけば、県のほうで、これに大体同じようなことをよく聞いています。そういう意味で、県の一般的な平均値といいますか、傾向と、高砂市はどう違うのかなというふうなことを見ることも含めて、できるだけそれに同じような聞き方をしている部分が大半です。あと少しは、高砂市の具体的に記述ができるようにしているところとか、そのあたりは事務局からも聞いて、アドバイスをした次第です。こういうふうなものがまた今度、次回のところあたりには出てくるというふうにご理解いただけたらと思います。

それでは、続いて、先にいきます。

ここまで私と事務局間のほうでしゃべりが多かったのも、それぞれせつかくですので、時間のほう、それぞれ1分程度で構いませんので、何らかのご縁でここへご参集いただいております。今、それぞれの方が見えているところでの高砂市のスポーツについて、そして、ご自身の思いについて、何でも結構ですので、この計画にかかわって、一言ず

つ述べていただけたら幸いなのですが、よろしいでしょうか。勝手に決めて申し訳ないのですが。

それでは、お願いします。

○委員

このスポーツというものが、する人、見る人、支える人、その三つで成り立っているというふうに思うんです。そこで、いわゆるする人というのは、幼少年、子どもたちから高齢者に至るまで、男女が取り組んでやられるわけですが、高砂市の中でのスポーツというもの、山間部でもありませんし、ハングライダーとかそういうものはできません。また、水中へ潜ったりとかというようなこともできません。海辺があるといっっても、活用できるのがいわゆる青年の家、あのあたりが砂浜で遊ぶというぐらいの程度しかできませんし、そういうわけで、今、高砂市で一番スポーツがやられていて、多くの人を楽しんでもらって活躍しておられるのは、いわゆる陸上競技を一つの基本としている、そして、走るということが足腰の鍛錬というものにつながると思うんです。そこから陸上をそのまま継続してやられて、トップをとられる人もおられるわけですが、いわゆる中学校へ入ってからは競技が変わってきたり、そして、今、中学校で言えば、柔道が高砂市で、指導者も多くおられます。そしてまた、何分ともいわゆる指導者があってこそそのスポーツでもあると思います。そういう関係で、どれだけ高砂市の中に支える人、そして、その指導をされる人、ともにやれる競技力のある人、そういう人がどれだけおられるかというのが一つの問題点ではないかなというふうに思います。そういうわけで、そのあたりを伸ばしてもらえる本当の高砂市づくりというものができる地域性だなというふうにも思います。祭りも盛んな地域で、地域でもって一緒に頑張ろうという、そういう地域性もありますので、そういう形でやっていけるのではないかな、そういう地域性だなと考えております。

○議長

ありがとうございます。委員、よろしいですか。もう何でも結構ですので。

○委員

僕自身は、もともとハンドボールをやっていて、この体になって、車いすでもハンドボールの競技がありますし、ここに競技の名前が上がっている中でも、ほとんどの競技が車いすであってもできる競技もあったり、手足がなくなっても、パラリンピックをめざしておられる方もたくさん、僕自身もお会いしたこともあります。そういう車いす、自分自身も車いすになってしまったということもあるんですけども、その可能性というものと楽しみというところ、そういったところを高砂市のほうからどんどん発信していく側に回れたら、私たちももっと楽しめる場であったり、先ほど言われた健康面であったりとか、そういったところでの楽しみも出てくると、高砂市ももっともいい方向へいけるのではないかなというふうに思っております。

以上です。

○議長

ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

競技とかもたくさん皆さん、携わっていらっしゃると思うんですけども、それ以外の方はじゃあどうなのかなというのがあって、やはり先ほども委員が言われたように、すそ野を広げるという意味合いも込めて、運動イコールつらい、苦しいというイメージを払拭していくこともすごく大切ではないかと思っておりますので、競うことだけではなくて、やっぱりチームワークであったりとか、まず運動することへの第一歩ということを進めていくことも私たちの役目ではないかなと思っておりますので、そういうことも含めてこれからどうしていったらいいかなということも検討していくことも大事なことはないかと

思うんです。だから、競技とかそういう枠に入っていない本当の一般の人たちも含めて巻き込んでいけるような計画が立てていけたらいいなと思っております。

○議長

ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

ほとんど意見は同じでして、私も仕事柄、健康増進にかかわっておりますので、一般の方というのは、スポーツ、アンケートから言ったら、興味がないとか、やる時間がないとか、言い訳をすごく出すんですけども、でも、深くお話をしていると、やっぱり健康にすごい興味があって、そのためには体を動かさないといけないと必ずおっしゃるんです。ですから、そのきっかけが必要であって、先ほども言われたように、運動することとはしんどいんとちがうかなとか、つらいことをしないといけないんじゃないかなとか、そういう思いを持っている方がとても多いので、ハードルをさげるといいますか、競技スポーツでも、例えば先ほど言われたように、支えるというかかわり方もありますよね。だから、そういうかかわり方から自分が少し踏み出せるような場があれば、もっと底辺が広がるのではないかなとは思っております。

○議長

ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

私は、人生経験もあまりなくて、まだまだ視野も狭いと思いますので、私がかかわっている、自分が得意というか、今かかわっていることを中心に少しでも皆さんのお力になればと思います。今、陸上競技を現役の競技者でやっておりますので、その競技者の視点で何かできることがあればなということを考えております。小学生陸上教室のお話をさせていただきましたけれども、やはりスポーツを普及させる一番の手段は、子どもたちが小さいときから、スポーツが楽しいことだと心でわかってスポーツを楽しむということだと思っておりますので、子どもたちがどうしたらスポーツをする、スポーツが楽しめるかということについて考えていかなければならないと思っております。

もう一つ、私、株式会社カネカに勤めているんですけども、一企業人として、企業に勤めている人、カネカは1,000人いるんですけども、ふだん運動しないような人もたくさんいるはずなんですけれども、会社の駅伝、毎年9月にやっているんですけども、1,000人のうち500人以上が出場するんです。だから、何かきっかけがあれば運動するという人が多くいるということがわかっていますので、そういった企業に所属する者としても、その立場としてできることはないかとか考えております。そういったことを中心に皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

○議長

ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

学校では、生徒たちにスポーツの意義ということを教えたりとか、生涯にわたってスポーツライブを楽しむというようなことを教えるんですけども、また、それと授業とは別に運動部活動のほうでは、やはり競技性が大変強いので、そのあたりの兼ね合いから、先ほどもどなたか言われていたように、スポーツはしんどいというイメージといいますか、体験からくるものがあって、私もそうなんですけども、不健康になってからスポーツの大切さがわかってくると。40歳から50歳ぐらいかなと思うんですけども、そのあたりを小学校、中学校連携して教えたいんですけども、なかなかうまくいってない。現実的には、やはり体育的な活動についても二極化しております。体を動かすのが好きな者はしっかり動かしているんですけども、その逆に全くしないという者が増えてきているのが今の現状です。そのあたりをどのようにこの計画にのせていくかも含めて

意見を聞いていきたいと思ひます。

以上です。

○議長

ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

お話を聞いていまして、小学校が担っている役割は大きいかと思ひます。この間、担当者会でもお話ししたんですけども、春に行われるリレーカーニバルがありますよね。あれで県で大体決勝に、本市で3校、4校、決勝に残るんです。ただ、時々どんな指導をしているのかというような話が他市から聞かれるようなんですけども、それともう一つは、体力状況調査ですか、それを見ても、さほど県下、高砂市の子どもたちの体力はよくないですね。そのあたりを見ても、今、おっしゃったように、二極化というか、しっかりやっている子どもたちもいますけれども、体力的には非常に下がってきているというのが現状です。私も一番スポーツというか、基本は足腰ではないかと思ひていまして。以前、私も陸上クラブではなくて、かけっこクラブというか、足腰を鍛えましょうというような朝練をやっていたことがあるんですけども、そういうスポーツは楽しいものだ、まあしんどいものもあるでしょうけども、でも、気持ちすがすがしいとか、そういう気持ち、楽しいものだよというようなものをもっともっと広げていくのが小学校時代の子どもたちに機会を与える課題かなと思ひております。

反面また、その下の幼稚園、保育園とか、はいはいができない子どもたちが増えているというのがもう20年ほど前から言われておりますけども、そういう基礎体力といいますか、そういうところも劣ってきているのではないかなというのも何十年も前から言われていと思ひますけども、そういう基本的なところからの生涯スポーツというのをめざしていけたらなと思ひます。

○議長

ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

スポーツ少年団の活動ということで、主に小学生なんですけども、専門競技ということで、野球、サッカー、空手道ということで、県大会とか全国大会をめざすようなこともしながら、それもあひながら、またグラウンドの掃除とか、いろいろなボランティア活動もするところを基本にやっているわけなんですけども、最近特に2年ほど前から始めたのが、大体、スポーツ少年団、3年生以降からいろいろな競技に入っていくわけなんですけども、今、テレビゲームとか家で遊ぶことが多くてなかなか外に出ないと、我々のころは、常に外でお兄ちゃんらと遊んでいたと、小さいときからわからんままに鬼ごっことか、鬼にならんような鬼ごっこみたいなことをさせられながら、小さいときからついていったわけなんですけども、今の子は、もう家の中へ閉じこもったら閉じこもったままということなので、小学校の低学年1年からスポーツに楽しむ、親しむということで、中には、走り方がわからない、投げ方がわからない、蹴り方がわからないという子もいまして、そういう基本的なところから教えながら、それから3年生、4年生になって専門のほうに進むとかいうふうなことをするというので、立ち上げたんですけども、その中で、特に野外活動もしながら、また、いろいろな歌を歌ったりとか、図工をしたりとかいうことも含めながら、外に引っ張り出して楽しむというところからするというようなことをしてございまして、そういうことがまずは大事なかなというふうに感じてございまして。それが高砂市の各地域にそういう小さな子を外に引っ張り出す仕組みができたらいいなと思ひます。

それとまた、指導者なんですけども、指導者も結構みんなボランティアで忙しい中でしてございまして、大変なんですけども、楽しみながら指導もしている、世話もし

ているということなので、そういうふうな楽しみながら世話ができるような仕組みづくりと申しますか、体制づくりと申しますか、雰囲気づくり、環境づくりというのを今回の推進計画の中に取り入れていけないかなというふうに感じております。

○議長

ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

実は一昨日まで小学生1、2年、3、4年、5、6年の全国大会を兵庫県のグリーンアリーナで行いまして、それのお手伝いをしまして、来週は全国実業団のお世話も兵庫が受けていますので、やることになって、高砂市で幸いなことに、2社、実業団が全国大会に参加することになっております。9月は、世界ランキング20位の選手で行われる女子のワールドカップにも総務のほうをしていただくということで、今、ばたばたと三つと一緒に動くようになりまして、やっと一つが終わったなと思っているんですけども。実は専門種目で卓球の教室と生涯スポーツと二足のわらじを履いております。先ほど副議長がおっしゃっていたみたいに、することと申して、私は勝つことしか考えてなくて、勝つことを一生懸命、勝って全国大会に出ようという気持ちがあったのに、今は、年配の方も、生涯スポーツであれば、いかに楽しみながら、ここに来るのが楽しいと言われるようにしなくてはならないというように努力して、競技スポーツのほうは、教室をしていまして、勝つために来ている方と楽しみながら健康のためにしようという方が極端にあるんですね。それをいかに私たちがその人たちを楽しみながら、その教室にいかに休みなく来れる環境づくりをしたいなと思って、今、努力しております。そういう大会の経験を踏まえながら、また、こういう会議でお世話ができて、何か提言ができたらいいなあと思っております。

○議長

ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

私は、スポーツクラブ21というのをやっているんですけども、これは皆さん、ご存じかと思うんですけども、平成13年ぐらいから高砂市は始めているんですけども、兵庫県下の小学校区で全てスポーツクラブ21、現在、できています。もともとできたのは、各地域でいろいろ高齢者が非常に増えてきたということもあって、平たく言うと、皆、健康でできるだけ病院に行かないようにしてほしいというのが一つあったかと思うんです。ほかにもいろいろ理由はあるんですけども、できるだけ健康で長生きをしていただきたいということもあって、兵庫県下全部で立ち上げようということで始めてやっています。ただ、高砂市の場合、特にその中でも、スタートのときから目標を持ったのは、誰でもどこでもいつでもできるというスポーツをやろうということで、逆に言うと、競技スポーツは一切やっていません。やっていませんというのはちょっと語弊があるので、やっているところもあるんですけども、原則は、先ほど言ったように、いつやってもすぐできるようなスポーツですね。簡単に言ったら、グラウンドゴルフとか、スーパードライブとか、ファミリーバドミントンという競技スポーツから少し離れたような簡単なスポーツを各校区でやっています。

そういうのもあって、実は構成というんですか、やられている方は、ここは極端に小学生とあとはほぼ60歳以上、結局、高齢者と小学生だけで、だから、間の言ってみたら、小・中・高・大学生、それと働いている人たちというのはほとんど参加されていません、逆に言うと。私らみたいに世話をする人が幾らか間におるので、実際、スポーツクラブでやっておられる方のほとんどの方がその今言った両極端ですね。逆に言うと、おじいちゃん、おばあちゃんと孫とが一緒にやっているというのが大体多いですね。だから、ある意味では、非常に和気あいあいとやっているんですけども、ちょっとほか

の皆さんのいろいろご意見を聞いていると、大体競技スポーツがほとんど主になっているところが多いかなと思うんですけども、このスポーツクラブ21は、ちょっとやっぱりほかのクラブとは違う、そういう活動を実はしております。

現在は、市内全域で大体700名から800名ぐらいの方が参加をされてやっているんですけども、お年寄りの方にしても、もっとたくさんおられるんですね。もっと入って活動していただきたいなというふうに思っております。なかなか声かけをして誘ってはいっているんですけども、できるだけ年配の方が1日でも2日でもできるように、こういう受け皿づくりというのを市内でもたくさん用意をする必要があるのかなという気がしております。だから、こういう我々がやっている、いつでもどこでも誰でもできるスポーツから競技スポーツまで、選択肢もひっくるめて、割と入りやすい受け皿づくりを多種多様にメニューとしてもっていけるようになったらいいのかなというふうに思っております。

○議長

ありがとうございます。最後に、委員、お願いします。

○委員

大概のことは、皆さん、お話されたなと思うんですけども、私、体育協会のほうからきょうは出させていただきましたけども、その中で、少林寺拳法という武道団体に所属しています。武道といいますと、相手を倒してどうのこうのというようなことになるんですが、無手の格闘技ですから、相手が半径1メートル範囲内でいて、相手を倒せるか倒せないかというような中でのスポーツというのか、武道というのか。その中で、体育協会は、球技もあれば、陸上、水泳等もあります。思いますのは、泳ぐのだったら、イルカには勝てないし、相手を倒すんだったら、少林寺拳法などしててもどうにもならないし、相手が無手やったら棒を持ったら勝つし、相手が棒を持っておったら、切れ物でも持ってきたら勝つだろうし、また、向こうが切れ物を持っておったら、我々日本ではだめやけど、ピストルを持っておったら勝つだろうしというふうなことを考えますときに、スポーツ、武道というのは、やっぱりまだ相手を倒して、あるいは競技をして頂点に立つ、相手に勝つ負けるではなくて、この資料の中にもあるんですが、スポーツは世界共通、人類の文化であるということが書かれてあります。これはやっぱり常にスポーツをすることによって、相手の立場のことを考えて、自分がまずすばらしい人生を送りなさい、その中で、自分が幸せを勝ち取ったら、少しでも誰かに分け与えてあげなさい、その気持ちを持って生活することを学ぶのがスポーツであり武道であるということから、まずはしっかりした自分をつくること、そして、自分と人とともに栄える、ともに楽しむ、そういうことをこの会議に提案をして、ただ単に勝った負けたじゃなくて、お互いに競い合いながら、助け合いながら、我々だったら、技を磨いて、勝つのではなくて、少しでも上手になって、ああ、自分は幸せだ、よかったなと思って思える方を一人でも増やしていきたいなと、そういうことがこのスポーツ推進計画検討会議の中に少しでも入れていけたらなという気しております。

以上です。

○議長

皆さん、ありがとうございました。急に振ったにもかかわらず、やはりそれぞれの場で実践をされたり指導されたりされている方なので、非常に興味深い視点が、私、メモをとらせてもらったんですが、あると思います。そのあたりも含めながら、次回以降、具体的に計画づくりに入っていきたいと思っておりますので、きょうの資料も事前に配られています。事務局にもお願いしているんですが、なるべく会議の前にご参照いただきたいものがある場合には、事前に送っていくようなスタイルでやりたいと思っております。

それとあと、これは蛇足になるんですが、こういう計画はいろんなところであるんで

す。一委員としてかかわったのが二つと、それとこういう取りまとめをしたのが二つあります。その中で、その後を見ていくと、やっぱり委員の皆さんが計画づくりだけのための会議をしていると、絶対にその後、計画はできるんですが、一応書類はできるので、委員の任務は終わるんですが、それが結局、具体的に活動にいくときに何も効力を持たない紙だけのものになっているというのが正直あります。これはどことは言わないんですが、私のかかわったところでも。一方では、ここの会議のメンバーの方が、今度は宣伝をしたり、広報をしたり、自分たちがつくったんだと、当然、ある程度原案は誰かがつくっていかないといけないのですが、こういう表現とか、先ほどの最後の委員のもそうなんですが、思いをみんながどういうふうにのせていくかというところが、そのつくった後にもつながってくると思います。そういう意味で、計画づくりは一つのきっかけ、まさにスタートだというふうにご理解いただいて、それに、ほかのホームページを見ていただいたらわかるんですが、やっぱり人間がスポーツをするうえでの課題とか今後というのはそう変わらないのです、正直言って。あとそこを具体的に高砂市の実情にあわせて、どんな表現を盛り込んだり、どんな思いを盛り込むのかというところに力を一緒に注いでいただけたらいいんじゃないかなと。計画をつくって、そして、これまでお話を聞いていましたら、まさに、いいところばかりではなくて、課題を、このままではいけないとか、大変だなということも多くの方が感じていらっしゃるって、そこに向けて、いろんな団体がどんなふうに例えばコラボするかとか、新しい仕組みをつくるかということも、ある部分は、利益代表ではないんですが、団体から出ているんですが、それとはまた別の視点も持ち合わせながら議論をしていただけたら幸いですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、最後に、次回以降の今後のスケジュールについて、事務局のほうから説明をいただきたいと思ひます。

○事務局

それでは、会議資料の8ページをお願いいたします。

7月に第1回目、今回、行われて、次回ですけれども、9月のところに第2回目と書いておりますが、次回は、10月1日火曜日、19時から南庁舎の5階、大会議室で行いたいと思ひます。また、ご案内は別途させていただきます。

以上です。

○議長

ありがとうございます。それでは、予定しました内容は、全てこれで終わりになるんですが、委員の皆様から、最後に何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○議長

そうしましたら、進行を事務局のほうにお返しします。

○事務局

ありがとうございます。それでは、最後に、健康文化部長より、閉会の挨拶をいたします。

○橋本健康文化部長

長時間にわたりまして、夜分ということで、皆様、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。先ほど議長からもお話がありましたように、このたび、計画づくりのための検討会議ということだけで終わらせず、十分に協議していただきたいというふうに考えております。したがって、それぞれの専門的な分野からの意見はもちろんでございますけれども、先ほど議長が言われましたように、それだけではなく広い視点の角度からいただいた意見等を忌憚なくお話し合ひいただきまして、より良い計画をつくって推進させていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひし

たいと思います。

本日はどうもご苦労さまでございました。

これで閉会といたします。

(午後 8時20分 閉会)